

新穂高地区における冬季間の安全対策

(株)高田組

右俣谷護岸工及び底張工等工事

(工期：平成22年10月30日
～平成23年3月31日)

現場代理人 ○竹田 淳

監理技術者 竹田 淳



1. はじめに

蒲田川上流の新穂高には奥飛騨を代表する観光名所、新穂高ロープウェイがあります。この新穂高を流れる右俣谷・左俣谷では、数年前から新穂高溪流保全工の工事を実施しています。新穂高溪流保全工は標高1000m以上の山間部での工事ですが、施工箇所が新穂高ロープウェイの目の前に位置するという条件もあり、観光客が減少する冬季間にも多くの工事を実施しています。



観光客で賑わう
新穂高ロープウェイ乗場
(8月中旬)

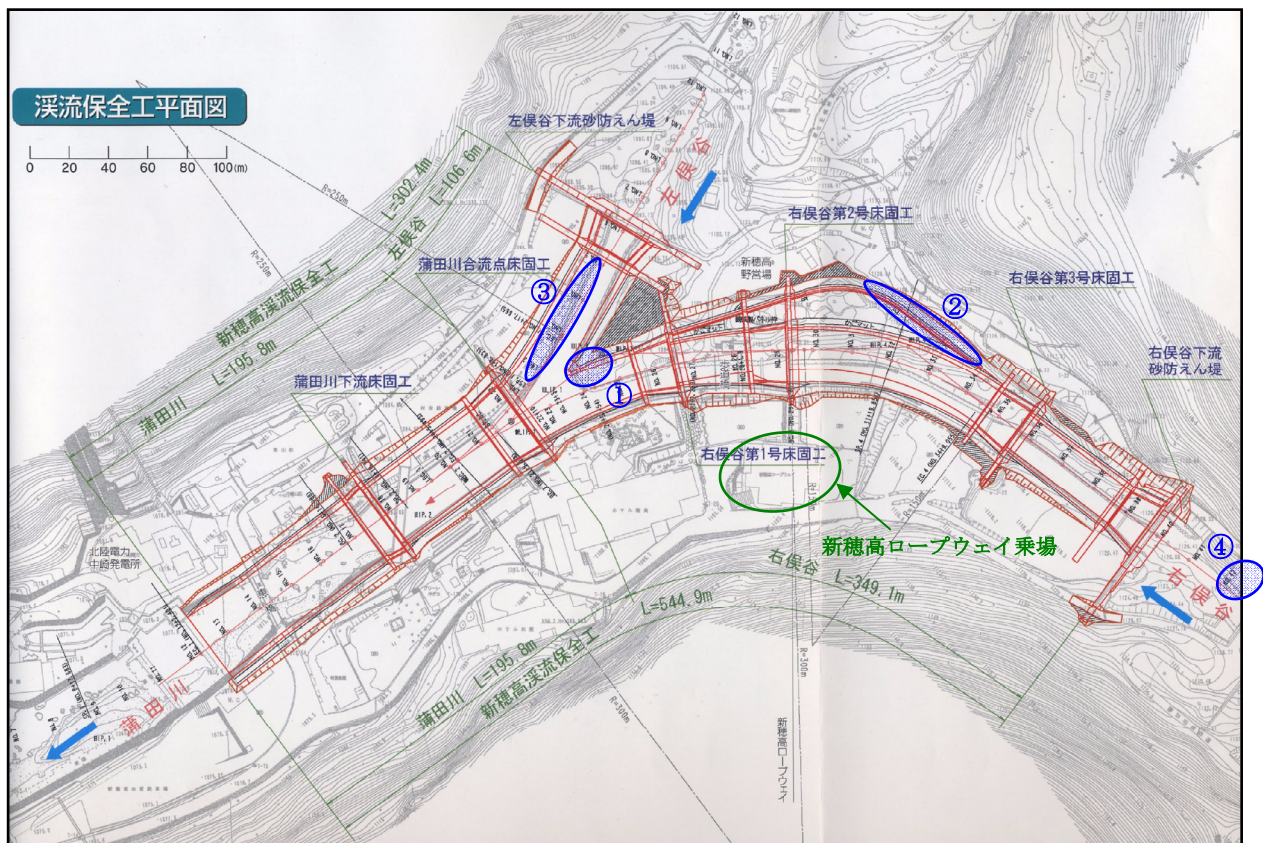
冬季になると観光客も減少
(12月下旬)



2. 新穂高溪流保全工の概要及び本工事内容

新穂高溪流保全工とは、新穂高地区を流下している蒲田川および、その支流の右俣谷、左俣谷は川幅が狭いうえに、宿泊施設等が近接しているため土砂流出による被災の危険性が高い地区となっているので、地域の山岳景観、親水性等に配慮しつつ、土砂災害に対する安全性の確保を図る為川幅を広げ、異常な流出土砂をスムーズに下流に流下させるとともに、上流域の流出土砂の抑制を図る土砂災害防止施設整備工事があります。

本工事はこの新穂高溪流保全工の一部である、①箇所では低水護岸・底張工事、②箇所では高水護岸工事・③箇所では仮締切工事、それと新穂高溪流保全工区間より上流部の④箇所では砂防堰堤補修工事と広範囲で工事を実施するものとなっています。

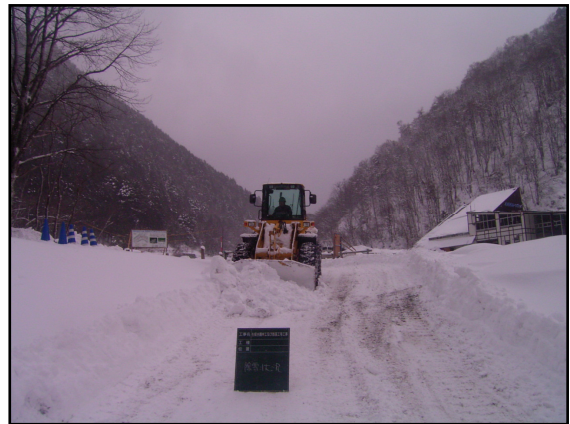


3. 冬季間の安全対策

新穂高では、11月初旬より雪が降り始め、11月下旬から積雪量が増えてくるとともに、気温も一日中氷点下になっていきます。本工事では以下を実施し、この過酷な条件下で工事を進めていっております。

(1) 工事用道路の除雪について

●本工事の施工箇所は市道から離れているので、市道からの工事用道路の除雪を行わなければ、施工箇所・現場事務所へたどり着く事ができませんので、朝一番には念入りに除雪を実施しています。



●工事用道路の路肩部にはポールをたて除雪時の路肩目印にしています。



●除雪車における除雪だけでは、坂道で車がスリップする為、融雪剤を散布しています。



(2) 防寒資材の配布について

- 一日中この寒さの中で作業するには、通常の防寒着だけでは作業してられないので、本工事現場では、作業員にカイロや長靴のインナー等を配布しています。



(3) 現場の資機材の養生について

- 年末年始休暇など長期間にわたりクレーンを使用しない場合には、ワイヤーロープが凍結しないようシートで養生しています。



- 外で保管する資材は、周囲にポールやカラーコンをたて、雪に埋まっても除雪車などが接触しないようにしています。



4. 終わりに

本工事は落札より2ヶ月が過ぎましたが、修正設計等の影響により仮設の一部を施工ただけで、これからが工事の本番であります。1月・2月は雪や寒さが最も厳しい条件となりますが、無事故で工事完成をむかえられるよう作業をすすめていきたいと思ひます。